

●天然アスファルト

現在、当社ではインドネシアのスラウェシ島の道路整備マスタープラン立案というJICAの仕事に参画しています。私も昨年来数回にわたって現地調査に赴きました。調査はほぼ終了しているのですが、このスラウェシ島の南東部に隣接してプトン島という小さな島があり、そこには、天然アスファルトがあります。可採埋蔵量6億トンと言われ、昔は年50万トンを探掘利用していました。現在でも細々と民間会社が操業していますが、何しろ岩層の中に30%混じっているという産状ですから、品質管理が難しく石油から取れるアスファルトに押されてきたのです。

JICA調査の中では、これを利用して交通量の少ないローカルな道路に利用することを考えています。もちろん品質管理もインドネシアの研究機関と共同で研究し、道路に利用する基準も設定しようというのです。道路整備コストを下げ、ローカルの素材を使うことで地域経済にも好影響を与えようという一石二鳥が狙いです。

庄山 高司（代表取締役）

●日暮里・舎人ライナー

『日暮里・舎人ライナー』は3月30日の開業予定です。東京都区部北東部の交通便性の向上と沿線地域の開発促進のため、平成9年12月から東京都交通局が中心となって工事を進めてきました。

この路線は、荒川区日暮里と足立区見沼代親水公園間の9.7kmを全線高架で結び全線複線です。西日暮里駅から北に向かう区間は放射11号線（尾久橋道）上に建設され、途中の隅田川と荒川の横断部では、道路の東側に専用の鉄橋が建設されました。建設費は1,315億円です。

13駅が設置され、運賃は2kmまでが160円、7kmから最長の10kmまでが320円です。線路の最小半径は30m、最急勾配は50%、線路最高点は中等潮位より約30mです。

システムは標準型新交通システムで、側方案内方式、ゴムタイヤ装備の長さ9mの車両が5両1編成で、定員は1編成当たり298人です。

列車には自動列車運転装置（ATO）が装備され、「ゆりかもめ」同様に無人運転が行われます。最高運転速度は60km/h、表定速度は29km/h、全線所用運行時間は20分とされています。電気方式は三相交流600Vで、集電靴により運転電流を取り入れています。

大塚 和之（技術顧問）

●春はまだかな

「第59回さっぽろ雪まつり」は、2月5日から11日の期間中、過去最多の約216万人の見物客を集め閉幕しました。相変わらずの盛況ぶりですが、私にとってこの時期に頭が痛いのが、札幌にある、誰も住んでいない実家の除雪問題です。北海道の雪は湿度が低く軽いので屋根の上の雪はさほど問題になりませんが、玄関先と除雪車が入った後に積み上げられた間口の除雪が厄介な問題なのです。何日もそのままにしておくと、留守宅と悟られ泥棒の被害に遭ってしまうからです。

そこで以前、ある業者に留守宅の除雪を打診したところ、あっさりと断られてしまいました。なんでも依頼主との間でトラブルが頻発し、よほどの事情がなければ受けられないというのです。「契約通りに除雪に来ない」、「家の壁に傷を付けられた」等のクレームが多く、依頼主が除雪現場を確認できない留守宅の除雪は受けたくないとのことでした。

札幌市が発注する除雪業務に参加する土建業者も年々減っているといえます。公共事業の減少で、夏場の余力を冬季間の除雪に充てることが出来なくなっている現状があるようです。札幌市の普通建設事業費は、この10年で3分の1まで落ち込んでいます。除雪機械の維持・更新に経費がかかるうえ、ひとたび暖冬になると大きな赤字を抱えてしまうことも業者に二の足を踏ませている要因になっているようです。

一方、市や業者には市民から苦情や要望が際限なく寄せられると言います。除雪予算が限界とされるなか、札幌市や業者は公共事業としての除雪業務の将来に

危機感を募らせています。雪まつりを楽しもうと年々見物客は増えていますが、スコップを持って自分の家の前の除雪する人は減る一方のようです。

高橋 裕之（業務部）

発行責任者：代表取締役 庄山 高司
事務局：株式会社アルメック 業務部
東京都目黒区青葉台 1-19-14
電話 03-5489-3211・FAX 03-5489-3210
Eメール hotnews@almec.co.jp
ホームページ <http://www.almec.co.jp>

Copyright 2008 ALMEC Corporation. All rights reserved.